



ニュージャージー 補習授業校通信

土曜日は日本の教育を

「ふしぎだな」と感じる心を大切に

夏休み明けの授業が始まります。

学校が始まるのを楽しみにしている人や、土曜日にも勉強するのは少しつらいと思っっている人もいるでしょう。

そんな皆さんに、詩をプレゼントします。

ふしぎ

金子 みすゞ

わたしはふしぎでたまらない、
黒い雲からふる雨が、
銀にひかっていることが。

わたしはふしぎでたまらない、
青いくわの葉たべている、
かいこが白くなることが。

わたしはふしぎでたまらない、
たれもいじらぬ夕顔が、
ひとりではらりと開くのが。

わたしはふしぎでたまらない、
たれにきいてもわらって、
あたりまえだ、ということが。

詩は大きく四つのかたまりに分かれています。これを連とといいます。四つの連とも「わたしはふしぎでたまらない、」から始まります。こう書いてあると、読むとき「何がふしぎなのか。」と思います。そして言葉のリズム感が読む人を次へ次へと誘っているようです。金子さんの詩は流れる音楽のように、とても美しく響いてきます。

ぜひ、声に出して読んでみてください。詩の四連では「あたりまえだ」ということが、ふしぎだと書いてあります。

私はこれを「学びへ向かう心」だと思います。例えば、ニュートンさんが、りんごが木から落ちるのは「あたりまえだ」と思ったら、引力についての発見は無かったかもしれせん。ふしぎだなと感じる心

そして、なぜだろうと感じる心
この二つの大切さを金子さんは教えているようです。

皆さんは土曜日の授業で色々なことをたくさん学ぶと思います。

その時はぜひ、「ふしぎだな、なぜだろう。」と感じる心を大切にしてください。きっと、勉強への取り組み方も変わっていくと思います。

楽しかった幼児部公開教室

七月十八日と八月八日の両日、幼児部では「オンライン無料公開保育」を行いました。年中、年長組合わせて延べ十八名のお子様に参加してくれました。この企画は本校幼児部の教員が新型コロナウイルスの感染予防のため、夏休み中も不自由な生活になりがちな幼児とそのご家庭に楽しんでもらおうと企画したものです。多数のご応募をいただき、ありがとうございました。



折り紙、お

話、ダンスなど四十五分の保育時間があつという間に過ぎました。

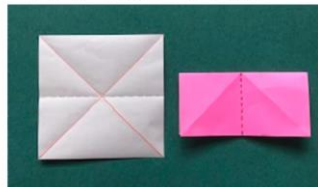
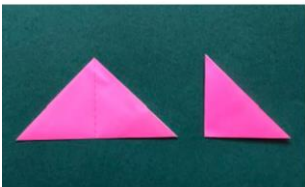
写真は折り紙を使って、アイスクリームを作っているところ

です。みんな、とっても上手にできました。

アイスクリーム



おって ひらいたあと こんどは
しかくに 2かい おります。



第十号

令和二年

八月二十一日

発行